

「内臓脂肪面積に関する研究」について

○ 研究の意義・目的

メタボリック症候群の概念が広がり、内臓脂肪面積を評価することの重要性が高まっています。当センターにおいても、腹部生体インピーダンス法を用いた内臓脂肪計を導入し、内臓脂肪面積の測定を行ってきました。今回、内臓脂肪面積と生活習慣病について検討を行うことにより検査の有用性を評価し、よりよい健康診断や保健指導を行うことを目的として研究を行います。

○ 研究対象者

2014年10月1日から2018年3月31日までに、順風会健診センターで健康診断を受診し、内臓脂肪面積を測定した方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を用いて行います。カルテから転記する内容は性別、年齢、身体計測（身長、体重、腹囲）、内臓脂肪面積、生活習慣病（血圧、脂質、糖代謝）、問診（生活習慣に関する質問票）などです。個人が特定出来る情報は転記しません。

○ 研究期間

2019年3月1日～2019年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。お申し出があった場合には、研究対象者が識別される情報の利用を停止いたします。

.....
お問い合わせ先

住 所：790-0822 愛媛県松山市高砂町2丁目3-1 順風会健診センター

電話番号：089-927-1272

研究担当者：渡邊 早苗